

カトレヤの育て方 (1)

栽培管理

置き場所

5月頃、夜間の最低温度が10℃以上になれば、屋外の日当たりと風通しの良い場所を選び、雨水のはね帰りのない棚上に置くか、木陰などに吊り下げます。葉焼けしないように春と秋は30～40％、夏は50～60％の遮光を行います。

秋は夜温が13～15℃以下になれば、温室や室内に入れます。冬の間はガラス越しの日が良く当たる場所に置き、最低温度は10～15℃以上で管理します。なお、日中25℃以上になったり、乾燥しすぎると花芽が枯れることがあるので注意します。

水やり

植え込み材料の表面が乾いたら、鉢底から流れ出るまでたっぷり水やりします。冬に適温が保てない場合は、水やりを控え、植え込み材料の表面が乾いてさらに2～3日経ってから水やりします。

肥料

5月と6月に月1回ずつ、油粕と骨粉を等量混合し、親指頭大に固めたものを4号鉢で1～2個、新芽の伸びている反対側に置肥します。また4～10月に液肥（成分N－P－K＝5－10－5）の1000倍液を水やりの代わりに10日に一回与えます。

支柱立て

蕾がシースから見え始めたら支柱を立て、ひもなどで茎を誘引して倒れるのを防ぎます。

<シース>つぼみが出る前に葉の付け根部分から出る、つぼみを覆う

病害虫の防除

膜のようなもの。つぼみが大きくなると、シースを破って開花します。

葉の周縁部や基部、バルブの薄皮の内側にカイガラムシがつきやすく、見つけ次第手や綿棒でこすり落とし、発生が多ければ適用のある殺虫剤を散布します。ナメクジが新芽や新根を食害するので、捕殺するか殺ナメクジ剤をまいて駆除します。

カトレヤの年間管理表

	5月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
置 き 場 所	戸 外						室 内							
	最低温度は10～15℃													
日 当 たり (%は遮光率)	30～40%		50～60%				室内の日の当たるところ					30～40%		
水 や り	乾いたらたっぷり						少なめ							
肥 料	●置 肥●													
	液肥を10日1回													
作 業	植え替え・株分け (春咲き)		植え替え・株分け (夏咲き)				植え替え・株分け (秋咲き)						植え替え・株分け (冬咲き)	



広島市植物公園

カトレヤの育て方 (2)

植え替え

植え込み材料

水苔、バーク（樹皮）などが適します。

植え替え時期と方法

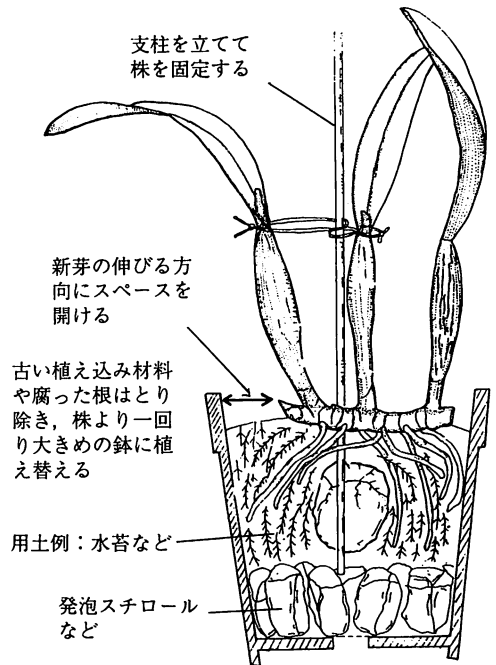
新芽の伸びる余裕のないものや、生育が良くないものは、花が咲き終わったら植え替えます。植え替えの適期は品種により違い、開花習性に合わせて行います（表参照）。原則として新根の伸び始める時期が適期です。

植え替え後の管理

植え替え後は、半日陰の風当たりの少ない場所に置き、新根が伸び始めるまで、葉水を多く与えて、空中湿度を保ちます。植え込み材料は少し乾かし気味にします。

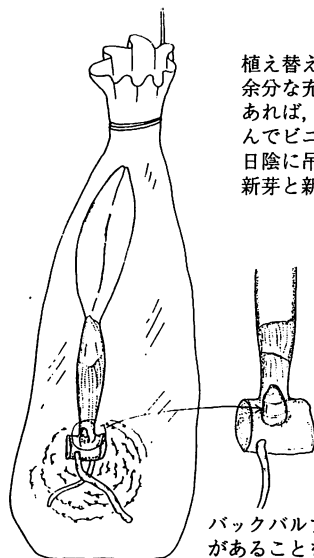
カトレヤの開花のタイプと植え替えの目安

開花のタイプ	植え替え・株分けの時期	芽出し時期	開花時期	冬の最低温度
春咲き	5月 (花後)	4～5月	4～5月	13度以上
夏咲き	9月 (花後)	2～3月	7～8月	15度以上
秋咲き	3～4月	3～4月	9～11月	10度以上
冬咲き	4月	3～4月	12～2月	13～15度以上



繁殖

大株になったものは、植え替え時期に株分けします。新芽にバックバルブを3～4本つけたも1株として分けます。また、株分けのとき切り離れたバックバルブで、基部の芽が傷んでいないものは、1～2本ずつに分けて株元を水苔に包み、ビニール袋に入れて日陰に吊るしておけば、数カ月後には新芽と新根が伸びてきます。



バックバルブ伏せ

